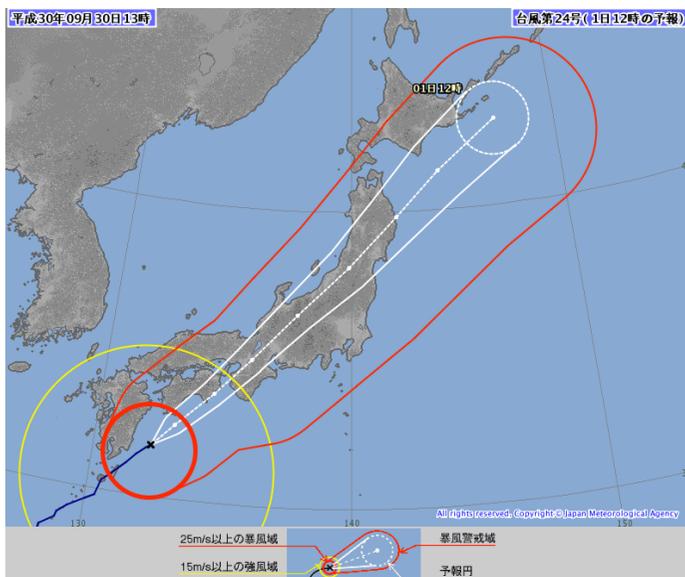


# 小渋ダム 洪水調節効果【速報版】

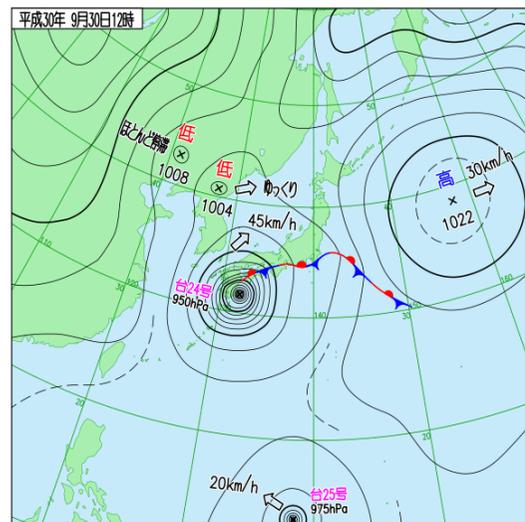
※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正または追加をすることがあります。

□ 非常に強い台風24号の影響により、9月29日の降り始めからの降水量（10月1日4時時点）は、小渋ダム流域平均で130.5mmを記録しました。

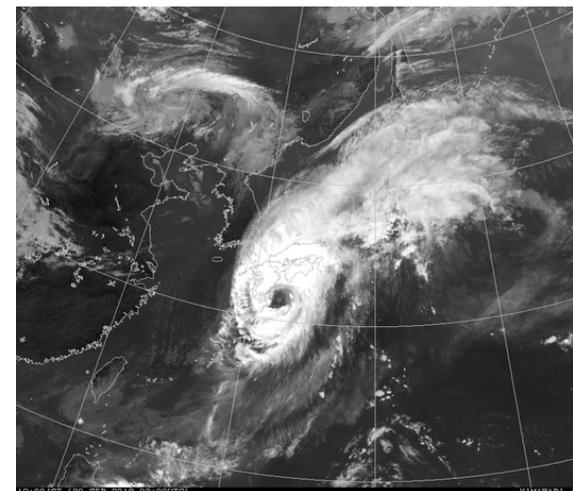
□ 小渋ダム管理開始以降（49年間）で10番目の流入量で約376m<sup>3</sup>/sを記録しました。



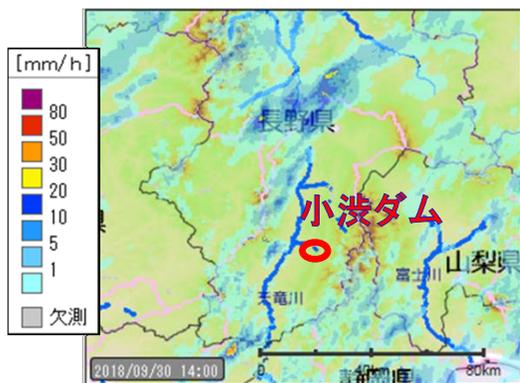
天気図(9月30日12時00分)



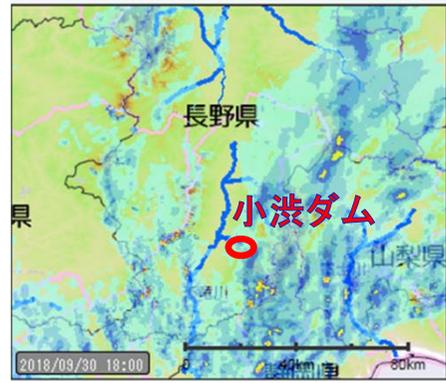
気象衛星(9月30日12時00分)



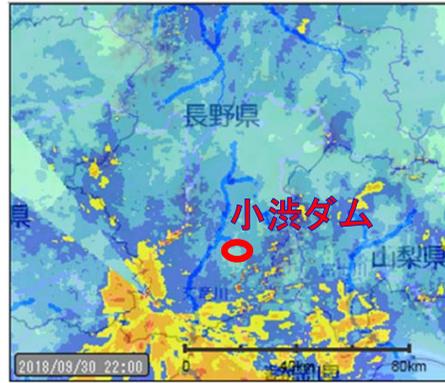
気象レーダ(9月30日 14:00)



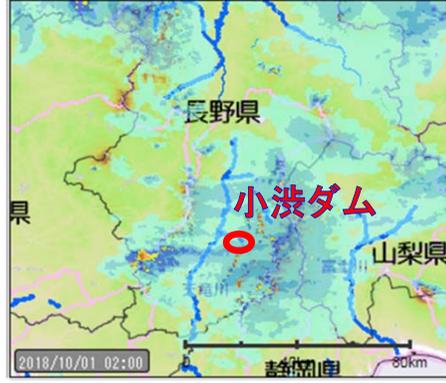
気象レーダ(9月30日 18:00)



気象レーダ(9月30日 22:00)



気象レーダ(10月1日 2:00)



出典：気象庁ウェブサイト

# 小渋ダム 洪水調節効果【速報版】

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正または追加をすることがあります。

□ 小渋ダムでの防災操作の実施により、最大約1,890千m<sup>3</sup>の水を貯留し、ダムがない場合と比較して、ダム下流の宮ヶ瀬地点の水位は、約9cm低下したものと推定されます。

□ 土砂バイパストンネルの試験運用を行い、貯水池への土砂流入を抑制しております。



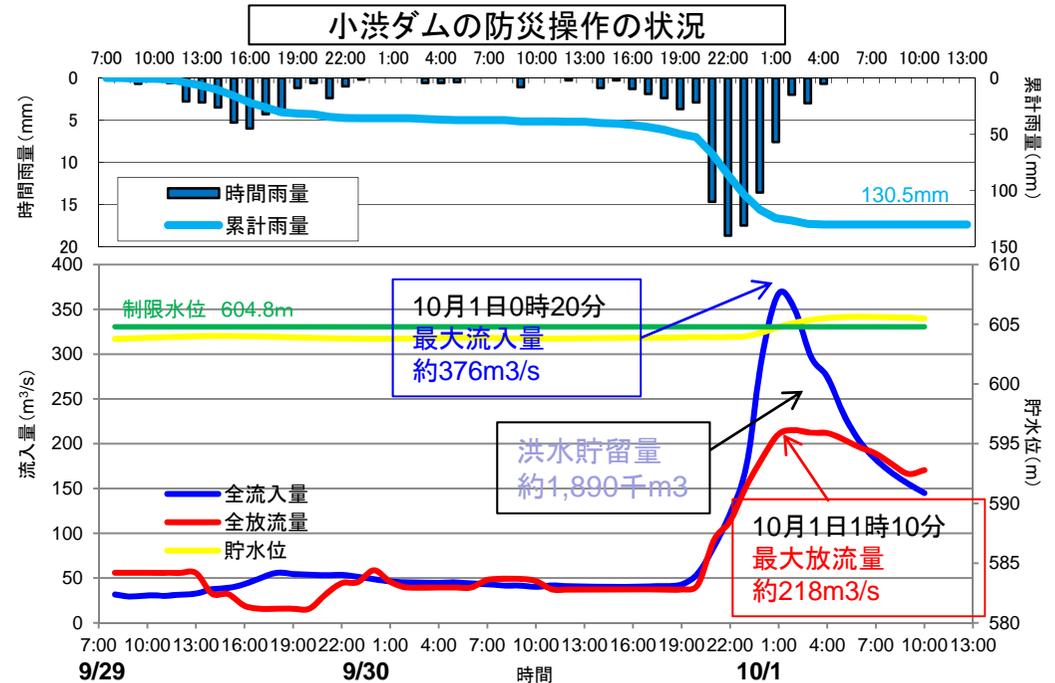
## 【小渋ダム概要】

目的：洪水調節、発電  
特定かんがい  
堤高：105.0m  
(ダム天端標高EL.620.0m)

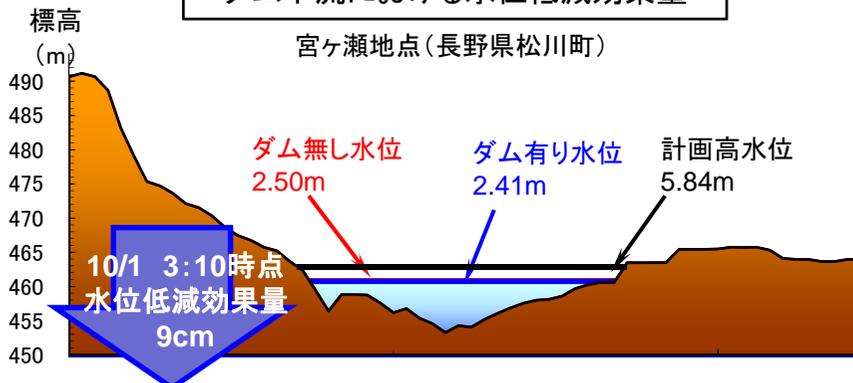
堤頂長：293.3m  
流域面積：288.0km<sup>2</sup>  
総貯水容量：58,000千m<sup>3</sup>  
洪水調節容量：33,900千m<sup>3</sup>  
(梅雨期)

計画最大流入量：1,500m<sup>3</sup>/s  
計画最大放流量：500m<sup>3</sup>/s

管理開始：S44年7月～



## ダム下流における水位低減効果量



## 防災操作状況 (10月1日5:30)



## 土砂バイパストンネル吐口 (10月1日9:00)

